記録用紙

大会名	平成25年度埼玉県新人体育大会	準決勝	観衆	約 300 人	主審		
会場	さいたま市 RHF駒場グランド	天候	晴	ピッチ	人工芝 良好	記録者	白田憲司
平成 25 年 11 月 14 日 15 時 15 分	試合時間 60分 延長 分	審判 主	佐藤俊介	副 清水啓太	副 笹尾 章	予	鬼丸豊次

さいたま市立大原中学校	0	0 — 0 0 — 3 — — — — P K	3	川口市立戸塚西中学校 Kick off

交代(分)(番) IN 分	番	OUT 分	番	シュート数 延長	延長	後半		前半		得点	選手名	背番号	位置	背番号	選手名	得点	シュート数 前半		後半		延長	延長	交代(分)(番) OUT 分	番	IN 分	番
分	番	分	番								内山雅史	1	GK	1	菅野良								分	番	分	番
分	番	分	番								須江将大	2		2	平野翔也								分	番	分	番
分	番	分	番								佐藤功大	3	DF	4	長谷川充					1			分	番	分	番
分	番	分	番								椎名凜太郎	4		43	相馬海音								分	番	分	番
分	番	分	番						1		五十嵐駿太	5		3	鈴木翔斗								分	番	分	番
分	番	分	番								茅島啓斗	6		21	宮岡燎馬								分	番	分	番
分	番	分	番								湯之前遼人	7	MF	16	奥本統太郎	1	1	1		2			分	番	分	番
分	番	分	番				2		1		水野尋希	8		6	村山貴哉								30 分	10 番	56 分	10 番
分	番	51 分	10 番								白石竜生	9		36	木村一翔								分	番	分	番
51 分	9 番	48 分	17 番			1	2		1		三田光希	10	FW	9	清水右都	2		1		2			分	番	分	番
分	番	27 分	15 番						1		勝又生路	11		11	柳雄大								36 分	12 番	分	番
OUT		IN																					IN		OUT	
分	番	分	番								林俊太	12		5	若谷豪								分	番	分	番
分	番	分	番								岡戸龍平	13		8	三隅壮一郎								分	番	分	番
分	番	分	番								鈴木颯真	14	SUB	10	吉見太一								30 分	6 番	56 分	6 番
分	番	27 分	11 番								西川大喜	15		12	溝口峻								36 分	11 番	52 分	23 番
分	番	分	番								齋藤亮二	16		23	伊藤左右治								分	番	52 分	12 番
分	番	48 分	10 番								橋本幸弥	17		31	北村春樹								分	番	分	番
分	番	分	番								藤田凜	18		40	広井秀平								分	番	分	番
9	シュート数			0	0	5		4									3		5		0	0	シュート数			8

[備考](警告、退場など)				延長	後半	前半	計	前半	後半	延長				[備考](警告、退場など)
	計	5			1	4	GK	0	5		5		計	
41分 警告(ラフ) ⑥	計	1			0	1	CK	0	2		2		計	
	計	0	0		0	0	直接FK	2	2		4	5	計	
	計		0		0	0	間接FK	0	1		1		計	
	計	0			0	0	PK	0	0		0		計	

[得点経過] 略号例: ～ドリブル、→ゴロのパス、∩浮球のパス、×混戦、Sシュート、Hヘディング

時間	経過	得点者	アシスト者	時間	経過	得点者	アシスト者
分				49 分	⑫→⑯～S	奥本	溝口
分				55 分	⑩→⑨～S	清水	吉見
分				58 分	⑯→⑨～S	清水	奥本
分				分			
分				分			
分				分			
分				分			
分				分			

[PK方式の経過]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

戦評　戸塚西1－4－4－2、大原中1－4－3－3。大原中のキックオフでゲームはスタート。大原中はMF⑧水野を中心に各々がシンプルにボールを動かし、タイミング良くターゲットのFW⑩三田へボールを入れサイドへ展開し攻撃を仕掛ける。テンポよくアタッキングサードへボールを運ぶがなかなか良い形でペナルティーエリアへ進入できない状態が続く。対する戸塚西は36番木村を大原中⑩三田にマンマークでつかせ自由にさせないとともに、ボールプレスを厳しくし、攻撃的な守備からMF⑯奥本やFW⑨清水の個の力でゴールに迫る。どちらも決定機を決められずに前半は終了。後半、戸塚西はMF⑩吉見やFW⑫溝口を投入。中盤でボールが収まり、⑨清水や⑫溝口の裏への飛び出しや⑯奥本のドリブル突破と攻撃のオプションが増えたことで徐々に戸塚西が流れをつかむ。ゲームが動いたのは後半20分。⑯奥本のドリブル突破からのシュートがゴールネットをゆらし先制。大原中は再度、⑩三田を投入し反撃を試たが、戸塚西中は常に2～3人でボール保持者を囲みに行き、大原中に主導権を握らせない。終了間際にも戸塚西⑨清水がDFラインの背後へとびだし2ゴールを挙げ、勝負を決めた。最後までプレスを緩めずに走り抜いた戸塚西中に軍配が上がったが、両チームとも持ち味を出した好ゲームであった。　[第3種中体連技術委員会]